

**令和4年度第3回 仙台市若林区区民協働まちづくり事業評価委員会
議事録**

1 日時

令和5年3月16日(木) 10時00分～12時20分

2 会場

若林区中央市民センター別棟 第3会議室

3 出席(名簿は次第裏面のとおり)

(1) 評価委員

(2) 事業担当課

家庭健康課、区民生活課、海浜エリア活性化企画室、まちづくり推進課

(3) 事務局

まちづくり推進課

4 傍聴者 1名

5 議題

令和4年度企画事業の事後評価について

※ 評価は事業ごとの質疑応答及び意見交換をもって行う

6 配付資料

(1) 令和4年度企画事業実績概要報告書 ※評価委員へは事前に配布済み

(2) その他関連資料、成果物

7 経過概要

(1) 開会

(2) 委員紹介

(3) 令和4年度企画事業実績概要報告

☞ 各課で事業ごとの写真等を投影しながら、実績概要報告書に基づきポイントを報告。その後、質疑応答・意見交換 別紙参照

(4) 閉会

令和4年度企画事業に関する質疑応答及び意見交換 記録

委＝評価委員

担＝事業担当課

1 若林区健康づくり区民会議

担当：家庭健康課

委 健康づくり寸劇について、団体の高齢化など、継続性に関する問題が気になる。現状を教えていただきたい。

担 参加されている方の年代は、50～70代が多く、年代が上がってきているのは実感している。コロナ禍であったため、劇団員の公募はしていなかったが、今後広く募っていきたいと思っている。

2 六郷地区の健康づくり推進

担当：家庭健康課

委 「六郷地区は乳幼児期・学齢期において肥満の割合が高く、青年期・壮年期においては検診の有所見者率や生活習慣病で治療している人の割合が高い地域である」との記載があるが、実際に有病率に現れているのか。

担 事業が開始したときに調査し、有病率についても、数字に現れている。

委 回復が見られたとの記載があるが、数々行った取り組みのなかで、何が一番有効だったか。

担 どの取り組みによる効果かは判断できていない。各取り組みがどのような効果に繋がったのかについては、これから調査をしていく。

委 小中学校の保健体育の授業で生活習慣病予防の啓発を行ったとのことだが、栄養面での指導も行ったのか。行ったとすれば、どのような内容か。

担 いずれも「ゲストティーチャー授業」として行っているもので、栄養士と保健師で伺っている。六郷地区の健康に関するデータを見せた上で、改善のために自分たちにはどのようなことが出来るか、家族の中ではどのようなことが出来るかについて、ワークショップ形式で意見を出し合った。

3 若林区安全安心街づくり活動推進事業

担当：区民生活課

委 単位防犯協会の課題について調査されたとのことだが、具体的にどのような課題が出

て、どのような課題解決のための対応を行ったのか。

担 荒町地区より、人員に関する課題を提示された。皆さんお仕事をしながらの活動なので、休日しか活動を出来ないという内容であったが、人員に関しては参画が難しく悩んでいるところである。その他、若林地区や連坊地区からは課題ではなく、啓発活動のときに配布するグッズがほしいとの要望があった。そのため、チラシや日用品を用意して一緒に啓発活動を行った。

委 特殊詐欺以外に、どのような防犯上の地域の趨勢があつて、対応についてどのようにお考えなのか教えていただきたい。

担 令和4年度については、現時点で特殊詐欺において8,400万円の被害があつたので、力を入れていたところである。その他、空き巣や自転車の盗難などの被害もあるので、来年度はそちらの啓発活動も行っていきたいと思っている。

委 地域から要望があつて、連坊地区や若林地区にお手伝いに行っていたとのことだが、人員や物品の提供だけでは勿体無いと思った。各地区ごとの課題を把握した上で、情報共有の機会を設けることが行政側の出来ることだと思うので、是非実施していただきたい。また、昨年度は学生さんに防犯活動を一緒にやっていただいていたとの報告があつたので、団体を超えた連携の体制づくりについても、今後さらに配慮しながら動いていただきたいことを期待している。

委 もしも上記の内容が実現するのであれば、地域包括支援センターにも是非お声がけいただきたい。というのも、地域包括支援センターとして、老人会や婦人会の集まりで、啓蒙活動はしているが、防犯協会の方々と具体的に「協力してやっていこう」というような声かけがあるわけではないので、そういった連携を行政主導でやってくれるのであれば大変ありがたいし、是非協力させていただきたい。

委 近頃凶悪な強盗事件が相次いでいるので、県警と連携をして市民に情報を流すなど、情勢に合わせて事業自体をバージョンアップしていただきたい。

4 仙台海手におけるにぎわいづくり事業

担当：海浜エリア活性化企画室

委 何ヵ年計画の事業なのか。

担 いつまでというのは決まっていない。今後継続して力を入れていきたいと思っている。

委 海浜エリアは素晴らしい施設がたくさんあるが、アクセスの問題もあり、なかなかうまく活用されていない印象である。アクセスの問題を解消するために、仙台駅から直

通のバスを出すとか、具体的な施策が必要になってくると思うが、そのあたりどのようにお考えか。

担 交通アクセスのご指摘は皆様からいただいております、我々も様々検討している部分である。来年度は、二次交通として、車で来た方が海浜エリアを回っていただけるような仕組みづくりの一環で、レンタル自転車やキックボードを活用した回遊性の向上を目指している。また、別部署ではあるが、観光課のほうで、夏に荒浜で親水イベントをやっているの、その期間にエリアを巡回するバスを通す計画がある。そういったものも色々と試行実施をしながら進めていきたい。

委 来訪者の増加については、数的な資料があるのか。

担 独自のデータではないが、沿岸部にある施設の来訪者数や、観光統計の数字に表れている。

委 海の手ネットワークメンバーの中に、「宮城野区海浜エリア活性化企画室」や、「かわまちてらす閉上」などが入っており、広域的に団結して行っている事業であることが読み取れる。宮城野区や名取市と情報交換などの連携を行っているのであれば教えていただきたい。

担 宮城野区と若林区が一体となって進めている事業である。また、名取市とも、交通のアクセスの面でも当然関わっていくことになるので、今後も連携を密にして進めていきたい。

委 海の手エリアをどうブランディングしていくのか。

担 仙台市の観光課のほうで、エリア別のブランディング事業が始まっており、その中で東部エリアは「リゾート」として打ち出していく計画である。リゾートといわれて一般的にイメージするような南国というよりは、サードプレイスのような、いつもと違った場所で豊かに過ごせるようなものをイメージしている。

委 地域の中で各事業者がバラバラで動いているので、地域のおまつりを開催するなど、共同事業のような形を作れないのか。行政サイドのほうでそういった提案は検討しているか。

担 今現在そのような話はないが、今後必要になっていく部分だと思うので、前向きに検討していきたい。

5 若林区民ふるさとまつり

実施：若林区まちづくり協議会

担当：まちづくり推進課

委 実行委員がまつり当日にあまり来られなかったとあるが、理由は何か。

担 お仕事をしながら関わってくださっている方がほとんどなので、お仕事を理由に来られないという方が数名いた。30 数名の実行委員のうち、20 数名は来て下さったので、参加率として著しく低いというわけではないが、3年ぶりの開催で混乱していた部分もあり、やはり人手は少なく感じた。

委 3年ぶりの開催ということだが、3年前に比べて来場者数に変化はあったのか。

担 コロナ禍であることや、会場の規模縮小、フリーマーケットの中止等で来場者数は3年前よりは減ったが、賑わいのあるまつりになったと思っている。

委 スタンプラリーは紙で行ったのか。

担 コストの面からも、紙での開催とした。

6 地域メディアの活用による〈新しい地縁〉創造プロジェクト（ラヂオはいらいん若林）

実施：若林区まちづくり協議会

担当：まちづくり推進課

委 ラジオの放送内容について、まちづくり推進課で放送前に内容の確認をしているのか。

担 年4回会議を実施しており、ラジオのテーマ決め等を行っている。放送された内容はあとからCDをもらって確認しており、事前の確認は行っていない。

委 以前の放送で、仙台市に対して批判的な内容のものがあつた。仙台市がその内容を承認して放送したと市民が受け取ってしまうのではないかと懸念している。収録の前に取材する人と打ち合わせをすることも必要だと思うし、ボランティアスタッフの方に、内容について気を付けていただくことも必要であると思う。また、人員のゆとりのなさや、ボランティアスタッフへ無償でお願いすることにも限界を感じるので、新しいスタッフの導入等の継続性について、今後の事業の進め方も含めて、腰を据えて検討すべきではないか。メディアとして区がまちづくりの発信媒体を持っていることはとても重要なことであるので、スタッフが疲弊しながら作ることにならないよう方法を模索していただきたい。

担 放送内容の事前チェックについては、放送の直前に放送内容の編集が完了することも

あり、時間の関係で実現していない部分である。取材に行く方々や編集する委託先に重々ラジオのスタンス等についてわかってもらった上で放送をしていただけるよう、区としても対応に努めたい。また、人員の不足については、まちづくり協議会としても事務局としても重々承知しており、対応につき検討しているところである。今後は、学院大生とも連携しながら、より幅広いリスナーを獲得できるような内容も含めて考えていきたいと思っている。

7 若林区合唱のつどい

実施：若林区まちづくり協議会・合唱連盟わかばやし

担当：まちづくり推進課

<質疑なし>

8 広瀬川灯ろう流し「光と水とコンサートの夕べ」

実施：若林区まちづくり協議会

担当：まちづくり推進課

<質疑なし>

9 若林区魅力発信事業（若林わくドキまち歩き）

実施：若林区まちづくり協議会

担当：まちづくり推進課

委 まち歩きコーディネーターの養成を区のほうでやられたらどうか。自分たちが自主的に企画をして、まち歩きの主催を出来るような人材が地域にたくさんいれば、事業にも広がりが出ると思うので、ご検討いただきたい。

担 まち歩きの会議の中で、年間のまち歩きを終えたあとに参加者を呼んで交流会をしようという話が出ており、前向きに検討しているところであった。まち歩きのより具体的な感想や、まち歩きをしてみたい場所を話し合っ、その流れで、今後区民自らがまち歩きを企画できるようになることも期待しているものである。

委 若林区の方が優先的に参加できるものなのか。

担 抽選で参加者を決定しているので、優先はしていない。

委 広報はどのような方法を取っているのか。

担 市政だよりで広報している。

〔委〕 市政だよりには、往復はがきで応募して下さいとあるが、往復はがき以外の応募方法はあるのか。

〔担〕 現状では往復はがきのみとなっている。

〔委〕 往復はがきは、若い人たちにはあまり馴染みのないものだと思うので、もう 1 つくらい別の応募方法を用意したほうがよろしいのではないか。

〔担〕 前向きに検討していく。